

校長室だより

環境整備作業ありがとうございました

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。普段から、保護者の皆様や地域の皆様方には、子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございます。8月24日(土)の環境整備作業でも大変お世話になりました。保護者・地域総勢63名が子どもたちと一緒に運動場の除草やコスモス山の整備等をしていただきました。また、トイレや水回りの掃除等も丁寧にさせていただきました。作業後には参加者全員でPTAに用意していただいた冷たいジュースをおいしくいただきました。

また、別日に、地域と保護者のボランティアで校舎内ペンキ塗りをしていただきました。2学期もよいスタートができます。暑い中での作業、本当にありがとうございました。



好きこそものの上手なれ

今年の夏休み期間には、フランスのパリでオリンピックが開催されました。フェンシングや乗馬、体操など、オリンピックならではの競技をたくさん見る機会がありました。夢中になって応援した人も多いと思います。試合だけでなく、練習風景や競技に取り組む姿勢なども放送されていました。どの選手も、ケガやスランプなどの挫折を経験し、苦しい練習を続け、出場につなげたようです。多くの選手に共通するのは、『好きこそものの上手なれ』ということわざ。辞書で調べてみると「好きなことにはおのずと熱中できるから、自然と勉強したり工夫したりすることで上達も早くなる」という意味でした。夢中になれることに出会い、どんどん熱中し、より上手になり、「もっと練習したい」「もっとできるようになりたい」というやる気につながっているようです。

これから2学期が始まります。「運動会に向けて」「読書」「ドッジボール」「お絵描き」など、大好きなことにしっかり熱中してください。時にはうまくいかないこともありますが、『失敗は成功のもと』です。どんどんチャレンジして、充実した2学期を過ごしてください。

平和や命について考える

夏休みの期間は、テレビや新聞、インターネットで、たくさんの戦争や平和に関する報道や記事を目にしました。第2次世界大戦(太平洋戦争)に関係することやロシア・ウクライナ、パレスチナ・ガザ地区に関係する報道など、たくさんありました。報道を通して、平和の尊さや、かけがえのない命、人権について考えていきたいものです。

図書室にも、平和や命についての図書がたくさんあります。子ども新聞にもたくさんの記事が掲載されています。普段、手に取らないジャンルかもしれませんが、今年の「読書の秋」は、ぜひ平和や命について考えてほしいです。

